

令和 7 年度

板橋区立板橋第五中学校

7 年学習の手引き

(各教科の指導内容および評価規準)

国語 P 1

社会 P 5

数学 P 8

理科 P 11

音楽 P 12

美術 P 15

保健体育 P 17

技術科 P 20

家庭科 P 22

英語 P 24

【観点別学習状況の評価と評定の評価基準】

観点別 評価	A	「十分に満足できる」状況と判断されるもの(80%以上)
	B	「おおむね満足できる」状況と判断されるもの(50%以上)
	C	「努力を要する」状況と判断されるもの(50%未満)

評定	5	「十分に満足できる状況であるもののうち、特に程度の高い」状況と判断されるもの(90%以上)
	4	「十分満足できる」状況と判断されるもの(80%以上90%未満)
	3	「おおむね満足できる」状況と判断されるもの(50%以上80%未満)
	2	「努力を要する」状況と判断されるもの(20%以上50%未満)
	1	「一層努力を要する」状況と判断されるもの(20%未満)

7年 国語科

教科目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
学年目標	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにするようにする。 (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

単元	項目	評価の観点規準（B評価）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 豊かに想像する	「朝のリレー」 「竜」 ○グループディスカッション ○言葉発見① 音声のしくみとはたらき ○漢字を身につけよう。 ◆書写： 字形の整え方と筆使い、点画の種類と筆使い	○事象や行為、心情を表す語句の豊かさを増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意を払っている。 ○話し言葉や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。 ○音声のはたらきやしくみについて、理解を深めている。 ○常用漢字を読んでいる。 ○字形の整え方を理解して書いている。	○「読むこと」において、文章を読み解いて理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。 ○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の心情の変化などに着目し、描写をもとに捉えている。 ○「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。	○進んで自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。 ○進んで心情の変化などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。 ○積極的に話題や展開を捉え、学習の見通しをもって話し合おうとしている。 ○進んで音声のはたらきやしくみについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。 ○進んで字形の整え方を理解し、学習の見通しをもって文字を書こうとしている。
2 わかりやすく伝える	「ペンギンの防寒着」 「クジラの飲み水」 ○漢字のしくみ1 ○レポート 調べたことを整理してわかりやすくまとめる ○漢字を身につけよう② ◆書写： 仮名の字形と筆使い	○比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ○常用漢字を読んでいる。 ○仮名の字形の整え方を理解している。	○「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 ○「書くこと」において、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	○進んで文章の構成や表現の効果などを捉え、学習課題にそって考えを報告しようとしている。 ○粘り強く集めた材料を整理し、学習の見通しをもってレポートを書こうとしている。 ○進んで仮名の字形の整え方を理解し、学習の見通しをもって文字を書こうとしている。

3 ものの見方・感性を 養う	「空中ブランコ乗りのキキ」 ○文法の窓1 言葉の単位・文節の関係 「字のない葉書」 ○随筆：体験に向き合い意味づける ○漢字のしくみ2 ○私の読書体験 ○漢字を身につけよう③ ◆書写： 文字の大きさと配列	○比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。 ○単語の類別について理解している。 ○常用漢字を読んでいる。 ○文字の大きさ、配列などについて理解して書いている。	○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて描写を元に捉えている。 ○「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	○進んで登場人物の相互関係について描写をもとに捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。 ○進んで単語の類別について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。 ○進んで場面と描写などを結びつけて内容を解釈し、学習課題にそって考えを記録しようとしている。 ○粘り強く伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。 ○進んで自分の考えを確かなものにし、学習したことを生かして学校図書館などを利用し、多様な情報を得ようとしている。 ○進んで文字の大きさ、配列などについて理解し、学習の見通しをもって文字を書こうとしている。
4 論理的に考える	「一〇〇〇円の価値を考える」 ○言葉発見② 接続する語句・指示する語句 ○スピーチ：構成を工夫して魅力を伝える ○漢字を身につけよう④ ◆書写： 行書の特徴	○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ○単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 ○常用漢字を読んでいる。 ○漢字の行書の基礎的な書き方を理解している。	○「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。 ○「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。	○進んで要旨を把握し、学習課題にそって考えをまとめようとしている。 ○進んで指示する語句と接続する語句の役割について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。 ○積極的に構成を考え、学習の見通しをもって話そうとしている。 ○進んで漢字の行書の基礎的な書き方を確かめ、学習の見通しをもって理解しようとしている。
5 古典に学ぶ	「月を思う心」 「竹取物語」 ○「故事成語」 ○漢字のしくみ3 ○漢字を身につけよう⑤ ◆書写：点画の丸み	○古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。 ○音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。 ○漢字の音読みと訓読みについて理解を深めている。 ○常用漢字を読んでいる。 ○漢字の行書の基礎的な書き方(点画の丸み)を理解して書いている。	○「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。 ○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を元に捉えている。 ○「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C工)	○進んで登場人物の相互関係や心情の変化を描写をもとに捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。 ○文章の構成や表現の効果を捉え、学習課題にそって考えを記録しようとしている。 ○進んで漢字の行書の基礎的な書き方(点画の丸み)を理解し、学習の
6 情報を関係づける	○マンガ 情報の扱い方 ○防災に関するデータ	○比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	○「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて文章を整えている。	○粘り強く情報の整理の仕方について内容を解釈し、学習課題にそって行事業内リーフレットを書こうとしている。

	○「みんなでいるから大丈夫」の怖さ ○行事案内リーフレット ○言葉発見3 方言と共通語 ○漢字を身につけよう⑥ ◆書写 点画の連続	○共通語と方言の果たす役割について理解している。 ○常用漢字を読んでいる。 ○漢字の行書の基礎的な書き方(点画の連続)を理解して書いている。	○「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。	○進んで共通語と方言の果たす役割について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。 ○進んで漢字の行書の基礎的な書き方(点画の連続)を理解し、学習の見通しをもって文字を書こうとしている。
7 読みを深め合う	「それだけでいい」 ○言葉発見④ 比喩・倒置・反復・対句・体言止め ○詩：思いや意見リズムに乗せる 「トロッコ」 ○読書活動 ○漢字を身につけよう⑦ ◆書写： 点画の形や方向の変化	○比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。 ○比喩・反復・倒置・体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 ○常用漢字を読んでいる。 ○漢字の行書の基礎的な書き方(点画の形や方向の変化)を理解して書いている。	○「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 ○「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。 ○「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈している。 ○「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などをふまえて、自分の考えをまとめている。	○進んで文章の構成や展開、表現の効果捉え、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。 ○進んで表現の技法を使い、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。 ○粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見通しをもって詩を書くようとしている。 ○進んで場面と描写などを結びつけて内容を解釈し、学習課題にそって考えたことを記録しようとしている。 ○積極的に自分の考えをまとめ、学習の見通しをもって紹介したいことを話したり、聞いたりしようとしている。 ○進んで漢字の行書の基礎的な書き方(点画の形や方向の変化)を理解し、学習の見通しをもって文字を書こうとしている。
8 視野を広げる	「意味と意図」 ○意見文：根拠を明確にして考えを述べる ○文法の窓2 単語の類別・品詞 ○漢字を身につけよう⑧ ◆書写： グループ新聞を作ろう	○比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。 ○原因と結果、意見と根拠など情報と情報の関係について理解している。 ○単語の類別について理解している。 ○常用漢字を読んでいる。 ○字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して書いている。	○「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈し手に入る。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものにしている。 ○「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 ○「書くこと」において、根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	○進んで必要な情報に着目して要約し、学習課題にそって理解したことを文章にまとめようとしている。 ○粘り強く根拠が明確になるように工夫し、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。 ○積極的に字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解し、今までの学習を生かしてグループ新聞を書こうとしている。
9 振り返って見つめる	「少年の日の思い出」 ○漢字を身につけよう ○グループ新聞	○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ○常用漢字を読んでいる。 ○事象や行為、心情を表す語句の量	○「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基いて、自分	○進んで文章の構成や表現の効果捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。 ○積極的に伝え合う内容を検討し、表記や語句の用法を確かめ、学習の

	◆書写： 文字の変遷 活字と手書き文字	を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解している。 ○漢字の行書の基礎的な書き方を理解している。	の考えを確かなものになっている。 ○「話すこと・聞くこと」において、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ○「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。	見通しをもってグループ新聞を作ろうとしている。 ○積極的に文字の変遷について理解し、今までの学習を生かして文字の歴史への理解を深めようとしている。
--	--	--	--	---

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価材料	・定期考査 ・小テスト(漢字・暗唱テストを含む) ・ワークシート	・定期考査 ・小テスト ・課題に関する提出物(電子を含む) ・発表の内容	・定期考査 ・振り返りシート ・課題解決に向けて取り組む姿勢 ・発表の内容

社会科

教科目標	(地理)
	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。
	(歴史)
	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。
	(公民)
	現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。

7年生

単元	項目	評価の観点規準（B評価）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界と日本の地域構成	・世界の地域構成	・地球儀などの活用の仕方を身に付け、世界の大陸と海洋の位置と名称を理解している。	・地球儀と世界地図の違いについての知識を生かし、どのような場面で地球儀や様々な図法で描かれた世界地図を活用することが適切なのかを考察し、その理由を説明している。	・世界の地域構成について、地球儀や地図帳を活用して、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などの約束事やきまりなどを主体的に追究しようとしている。
	・日本の地域構成	・日本の領域について、地図帳などを活用して位置や名称をとらえる技能を身に付け、日本の領域の特色を理解している。	・都道府県庁所在地の歴史的特色や共通性について考察し、その内容について略地図なども活用しながら表現している。	
歴史のとらえ方・調べ方	・私たちと歴史	・課題を追究したり解決したりする活動を通して、年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。	・時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。	・私たちと歴史の活動を通して、歴史学習に向けて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
原始・古代の日本と世界	・人類の出現と文明のおこり ・日本の成り立ちと倭の王権 ・大帝国の出現と律令国家の形成 ・貴族社会の発展	・原始・古代の社会の様子について、写真や想像図などの資料から読み取る技能を身につけている。 ・律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、東	・写真や想像図などの資料から、原始・古代の社会の様子について読み取り、その変化について予想を立て、考察し、表現している。 ・東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、東ア	・写真や想像図などの資料の読み取りを通して、原始・古代の学習の見通しを立てている。 ・日本列島での人々の生活の変化と、国家が形成されていく過程について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に

		アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。	アジアの動きが政治に与えた影響などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	追究しようとしている。
世界のさまざまな地域	・世界の人々の生活と環境	・世界の気候帯について、その名称を理解し、分布の特色を地図帳などを活用して読み取る技能を身に付けている。	・複数の言語を公用語としてある国について、多文化の尊重の視点から考察し、その内容を表現している。	・世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
世界の諸地域	・アジア州 ・ヨーロッパ州 ・アフリカ州	・各州の位置・気候・歩みなどについて、地図帳などを活用して特色を読み取る技能を身に付け、州の主な自然地名や国々の位置と名称、地域区分などを理解している。	・各州の産業について、自然環境や歴史に着目して特色を考察し、その内容を表現している。	・人口・食料問題などの地球的課題に着目して考え、主体的に追究しようとしている。
中世の日本と世界	・武家政治の始まり ・ユーラシアの動きと武家政治の変化 ・結びつく民衆と下克上の社会	・公領や荘園への影響力を背景に、武士が地方で力を伸ばしたことを理解している。 ・建武の新政が失敗した理由について考えるとともに、南北朝の争乱が続かなかで、地方の守護が力を強めていったことを理解している。 ・応仁の乱ののち、下剋上の風潮が広がるなかで、各地に戦国大名が割拠し、実力で領国を支配したことを理解している。	・農業技術や手工業、商業の発達による人々の生活の向上や社会の変化の様子を考察し、表現している。 ・元寇が幕府政治に及ぼした影響や、鎌倉幕府が滅亡した要因について、幕府と御家人の関係や悪党の出現などとの関わりから考察し、表現している。 ・室町文化のなかには、能や狂言、書院造、茶の湯など、今日まで受け継がれているものが多いことに気づき、その特色を考察し、表現している。	・武士が台頭して鎌倉幕府が成立し、その支配が全国に広まるとともに、武士や民衆の活力を背景に生まれた社会や文化について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究している。
世界の諸地域	・北アメリカ州 ・南アメリカ州 ・オセアニア州	・各州の位置・気候・歩みなどについて、地図帳などを活用して特色を読み取る技能を身に付け、州の主な自然地名や国々の位置と名称、地域区分などを理解している。	・各州の産業について、自然環境や歴史に着目して特色を考察し、その内容を表現している。	・人口・食料問題などの地球的課題に着目して考え、主体的に追究しようとしている。
近世の日本と世界	・結びつく世界との出会い ・天下統一への歩み	・ヨーロッパ人來航の背景とその影響などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、それが日本の社会に及ぼした影響について理解している。	・統一政権の諸政策の目的などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、中世社会から近世社会への変化が生み出され、日本の政治や文化に与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現し	・世界の動きと関連付けながら、中世から近世への過渡期にある日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

			ている。	
身近な地域の歴史	・身近な地域の歴史を調べよう	・課題を追究したり解決したりする活動を通して、自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、具体的な事柄との関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。	・課題を追究したり解決したりする活動を通して、比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。	・自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、身近な地域の歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

評価材料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート（電子データ含む） ・レポート	・ワークシート（電子データ含む） ・振り返り

7年 数学科

教科目標	① 数を正の数と負の数まで拡張し、数の概念についての理解を深める。また、文字を用いることや方程式の必要性和意味を理解するとともに、数量の関係や法則などを一般的にかつ簡潔に表現して処理したり、一元一次方程式を用いたりする能力を培う。 ② 平面図形や空間図形についての観察、操作や実験などの活動を通して、図形に対する直観的な見方や考え方を深めるとともに、論理的に考察し表現する能力を培う。 ③ 具体的な事象を調べることを通して、比例、反比例についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。 ④ 目的に応じて資料を収集して整理し、その資料の傾向を読みとる能力を培う。
学年目標	① 正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 ② 数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。 ③ 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。

単元	項目	評価の観点規準（B評価）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
0章 算数から数学へ	1 整数の性質	- 自然数、素数、素因数分解の意味を理解している。 - 素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解することができる。	自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見だし表現することができる。	自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見だそうとしている。
1章 数の世界をひろげよう【正負の数】	1 正負の数 2 加法と減法 3 乗法と除法 4 正負の数の利用	- 正負の数の必要性和意味を具体的な場面と結び付けて理解している。 - 正負の数の大小関係や絶対値の意味を理解している。 - 正負の数の四則計算をすることができる。 - 具体的な場面で正負の数を用いて表したり処理したりすることができる。	- 算数で学習した数の四則計算と関連づけて、正負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。 - 数の集合と四則計算の可能性について捉え直すことができる。 - 正負の数を活用して様々な事象における変化や状況を考察し表現することができる。	- 正負の数のよさに気づき粘り強く考えようとしている。 - 正負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 - 正負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
2章 数学のことはを身につけよう【文字と式】	1 文字を使った式 2 文字式の計算 3 文字式の利用	- 文字を用いることの必要性和意味を理解している。 - 文字を用いた式における積や商の表し方を知っている。 - 文字を用いた式の文字に数を代入して、その式の値を求めることができる。 - 簡単な1次式の計算をすることができる。 - 数量の関係や法則などを、文字を用いた式に表すことができることを理解している。 - 数量の関係や法則などを、文字を用いた式を用いて表したり、	- 具体的な場面と関連づけて、1次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。 - 文字を用いた式を活用して、具体的な事象を考察し表現することができる。	- 文字を用いることのよさに気づき粘り強く考えようとしている。 - 文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 - 文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

		読み取ったりすることができる。		
3章 未知の数の求め方を考えよう [方程式]	1 方程式とその解き方 2 1次方程式の利用	- 方程式の必要性和意味を理解している。 - 方程式の解や等式の性質、移項の意味を理解している。 - 等式の性質の意味を理解し、等式の性質を用いて方程式を解くことができる。 - 移項の考えを用いて方程式を解くことができる。 - 簡単な1次方程式、比例式を解くことができる。 - 事象の中の数量やその関係に着目し、1次方程式をつくることができる。 1次方程式を用いて具体的な場面の問題解決を行うときの、解の吟味の意味と必要性を理解している。	- 等式の性質をもとにして、1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 - 方程式において、移項できる理由を等式の性質をもとにして考察し表現することができる。 - 具体的な場面の問題において、1次方程式を活用し、問題を解決することができる。 - 具体的な場面の問題において、解を吟味して解答としてよいことを判断することができる。	- 方程式のよさに気づき粘り強く考えようとしている。 - 正負の数や文字を使った式で学んだことを生かして、方程式を効率的に解く方法を検討している。 - 方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 - 方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
4章 数量の関係を調べて問題を解決しよう [比例と反比例]	1 関数と比例・反比例 2 比例の性質と調べ方 3 反比例の性質と調べ方 4 比例と反比例の利用	- 関数関係の意味を理解している。 - 比例、反比例について理解している。 - 比例、反比例を表、式、グラフなどに表すことができる。	- 比例、反比例として捉えられる2つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。 - 比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	- 関数関係や比例、反比例のよさに気づき粘り強く考えようとしている。 - 比例、反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 - 比例、反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
5章 平面図形の見方をひろげよう [平面図形]	1 図形の移動 2 基本の作図 3 おうぎ形	- 平行移動、対称移動及び回転移動について理解している。 - 平面図形に関する用語や記号の意味と使い方を理解している。 - 角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解している。 - おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。	- 図形の移動に着目し、2つの合同な図形の関係について考察し表現することができる。 - 線対称な図形の性質をもとにして、基本的な作図の方法を考察し表現することができる。 - 図形の移動や基本的な作図を具体的な場面で活用することができる。	- 平面図形の性質や関係を捉えることのよさに気づき粘り強く考えようとしている。 - 平面図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 - 図形の移動や基本的な作図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
6章 立体の見方をひろげよう [空間図形]	1 いろいろな立体 2 立体の見方と調べ方 3 立体の体積と表面積	- 空間における直線や平面の位置関係を理解している。 - 立体図形の展開図や投影図について理解している。 - 柱体や錐体、球の表面積と体積を求めることができる。	- 空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えることができる。 - 空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだすことができる。 - 立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現することができる。	- 空間図形の性質や関係を捉えることのよさに気づき粘り強く考えようとしている。 - 空間図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
7章	1 データの整	・ヒストグラムや相対度数などの	・目的に応じてデータを収集して	・ヒストグラムや相対度数のよさ

データを活用して判断しよう [データの分析と活用]	理と分析	必要性と意味を理解している。	分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。	に気づき粘り強く考えようとしている。
	2 データの活用 3 ことからの起こりやすさ	・累積度数、累積相対度数の必要性と意味を理解している。 ・代表値や範囲の必要性と意味を理解している。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる。 ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性と意味を理解している。	・多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。	・ヒストグラムや相対度数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・ヒストグラムや相対度数を活用した問題解決の過程を振り返って検討したり、多面的に捉え考えようとしたりしている。 ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率のよさに気づき粘り強くを考えようとしている。 ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。

評価材料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・定期考査 ・単元別テスト ・小テスト ・行動の観察	・定期考査 ・単元別テスト ・小テスト ・行動の観察	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート（プリント） ・行動の観察 ・振り返り

7年 理科

教科目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
	(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
	(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
	(3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元	項目	評価の観点規準（B評価）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 いろいろな生物とその共通点	第1章 生物の観察と分類のしかた 第2章 植物の分類 第3章 動物の分類	いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類の仕方、生物の体の共通点と相違点を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現している。	いろいろな生物とその共通点に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
2 身の回りの物質	第1章 身の回りの物質とその性質 第2章 気体の性質 第3章 水溶液の性質 第4章 物質の姿と状態変化	身の回りの物質の性質や変化に着目しながら、物質のすがた、水溶液、状態変化を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身の回りの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだし表現している。	身の回りの物質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
3 身の回りの現象	第1章 光の世界 第2章 音の世界 第3章 力の世界	身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、光と音、力のはたらきを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身近な物理現象について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見いだし表現している。	身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
4 大地の変化	第1章 火をふく大地 第2章 動き続ける大地 第3章 地層から読み取る大地の変化	大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、身近な地形や地層、岩石の観察、地層の重なりと過去の様子、火山と地震、自然の恵みと火山災害・地震災害を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	大地の成り立ちと変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだし表現している。	大地の成り立ちと変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

評価材料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	定期考査、小テスト、レポート	定期考査、小テスト、レポート、発表の内容、ワークシート	ノート、ワークシート、レポート、振り返りテスト

7年 音楽科

教科目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2)音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。
学年目標	(1)曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2)音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていける態度を養う。

単元	項目	評価の観点規準（B評価）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
『板橋五中校歌』	歌唱	・変声期に対して正しい知識をもち、個人の変声段階に応じた無理のない発声を意識して歌唱できる。	・個人の変声状況を把握し、それに適応させて無理のない音域を工夫して歌唱できる。	・自分の変声状況を把握し、それに適した無理のない発声を意欲的に考えて歌唱できる。
楽譜の規則	楽典	下記の要素を理解する。 ・音符や休符の長さ ・調性の特徴と構造 ・反復記号 ・速度記号 ・楽曲構造 ・表現記号	・歌唱、器楽、創作、即興の際に左記要素を意識して工夫して表現できる。	・学習した要素を、歌唱や器楽の実技に应用するよう関連づけて取り組むことができる。
『春』	鑑賞	・バロック時代の音楽の特徴を理解できる。 ・使用楽器の特徴や編成を理解できる。 ・リトルネロ形式を理解して鑑賞できる。	・イタリアのトスカーナ地方の風景を想像しながら鑑賞する。 ・ソネットとの関わりや曲想の変化を意識して鑑賞できる。	・楽器の特徴や音色など、学習したことを元に鑑賞し、感想を文章でまとめることができる。
混声三部合唱	歌唱	・混声三部合唱のパート構造や特徴を理解し、自分の声域を把握して適切なパート選択ができる。 ・複合拍子の特徴を理解して歌唱できる。	・3パートの響きを味わいながら、各パートの役割を意識して、表現を工夫して歌唱できる。	・変声に応じてパートを適切に選択し、発声しやすいように工夫しながら歌唱できる。
和太鼓実技	器楽	・姿勢やバチの握り方などの奏法の基礎を意識して演奏できる。 ・楽譜に記載されている通りに演奏できる。 ・口唱歌による演奏できる。	・フォームやリズムの修正を行い、演奏に反映させられる。 ・限定された小節内を創作できる。 ・その際、拍子、音符・休符の長さ、前後の関連を考え工夫して創作に活か	・他生徒の演奏を参考に、自分の演奏を振り返り、姿勢を確認したり、音を聞いて改善する箇所を考えることができる。 ・グループでの合奏では、自他の関

		る言葉と音楽との関係を理解できる。	せる。	わりを意識して演奏し、グループ練習や討議に積極的に参加できる。
2小節のリズムを作る	創作	・音価を考えて2小節の創作ができる。	・リズムの種類を組み合わせる工夫できる。	・作品を見直して改善点を考えることができる。
『夏の思い出』	歌唱	・歌詞の意味を理解して歌唱できる。 ・楽曲の形式を理解し、生かして歌唱できる。 ・二長調の音階構成理解できる。	・尾瀬の風景を想像し、強弱記号や速度記号を捉えて表現を工夫できる。	・学習したことをもとに、意欲的に表現を工夫して歌唱できる。 ・それぞれの記号のもつ音楽的な意味を考えて歌唱しようと試みることができる。
混声三部合唱	歌唱	・混声三部合唱の構造や特徴を理解する。 ・自分のパートの役割を理解して歌唱する。	・歌詞の意味を理解し、それに適した表現を工夫する。 ・強弱等、楽譜に記載されていることをもとに、歌唱表現を工夫する。	・自分の歌唱を振り返り、次の授業で改善したいことを考えることができる。 ・パートやクラスでの討議に積極的に参加し、自分の考えを述べたり、他生徒の意見を参考に自分の考えを再構築できる。
『赤とんぼ』	歌唱	・日本語の歌詞の抑揚に応じた旋律の特徴、強弱などを理解して歌唱する。 ・変ホ長調の音階構成と音色の特徴を理解できる。	・情景や歌詞の意味を考えて表現できる。 ・頻繁に変化する強弱記号に適応して、その意味を考えて歌唱できる。 ・情景を表現するための適切な速度を理解して歌唱できる。	・曲の形式や歌詞を生かして歌唱方法を工夫する。 ・日本語のもつ美しさを感じて歌唱できる。
アルトリコーダー	器楽	・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方の技能を身に付けている。	・強弱記号や速度記号を捉えて表現を工夫できる。 ・リコーダーの音色に着目し、改善を重ねて、良い音色感で表現している。	・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏しようとしている。 ・自身の奏法を見直し、改善しようとしている。
アジアの音楽	鑑賞	・音楽の多様性(地域・宗教・使用楽器等による相違)を理解する。 ・生活の中や地域による音楽活動の意義を理解できる。	・他の地域の音楽との相違(楽器の音色、発声等)を理解して鑑賞できる。 ・音のテクスチャを感じ取って鑑賞できる。	・音楽の多様性を理解して様々な音楽文化に親しむ。 ・鑑賞活動で感受した内容を、感想文でまとめることができる。
PC上での創作	創作	・PC上で、音価を理解してリズムを打ち込むことができる。	・定められたリズムにアレンジを加えられる。 ・速度や和音を工夫して表現できる。	・常に再生と検証をくり返して、自分の作品をより良く改善しようとする。
		・ロマン派の時代の特徴の	・登場人物・ナレーターのセリフと旋	・伴奏、歌唱、物語、言葉(歌詞)

『魔王』	鑑賞	概要を理解できる。 ・リート（芸術歌曲）と 歌の相違や伴奏の芸術性を理解できる。	律との関わりを理解し て鑑賞できる。 ・曲想の変化を物語の進行を意識して鑑賞できる。 ・曲を聴いて想像できる情景を 絵と文で表現することができる。	の変化に対応させて情景を想像し、その想像をも とに絵と文で感じたことを 表現することができる。
------	----	---	---	---

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価材料	・定期考査 ・ワークシート（プリント） ・実技テスト ・作品提出 ・行動の観察	・定期考査 ・ワークシート（プリント） ・実技テスト ・作品提出 ・行動の観察	・定期考査 ・ワークシート（プリント） ・実技テスト ・作品提出 ・行動の観察 ・振り返りシート（毎時）

7年 美術科

教科目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようになる。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
学年目標	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようになる。 (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

分野	題材名	評価の観点規準（B評価）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
オリエンテーション	中学美術の世界 によるこそ 美術との出会い イメージマップ	知 美術についての考え方や形が感情にもたらす効果などを理解している。 技 線を描く技法を身に付け、意図に応じて工夫し、美しさを考えながら表している。	発 伝える内容やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、表現する構想を練っている。	態表 美術の創造活動の喜びを味わい楽しくデザインするなど装飾のデザインの目的や機能を考えて構想を練ったり、意図に応じて工夫し調整しながら表現の学習活動に取り組もうとしている。
絵画	見つめると 見えてくるもの 身近なスケッチ	知 形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴や全体の様子などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 技 アクリル絵の具の生かし方などを身に付け、水彩技法で意図に応じて工夫して表している。	発 身近な場所を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、場所のイメージなどを基に主題を生み出し、構図などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	態表 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近な場所の特徴や美しさなどを基に意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に粘り強く取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に調整しながら取り組もうとしている。
鑑賞	美のタイムトラベル	知 形や色彩、模様、材料、場所などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさ、印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。	鑑 日本及び諸外国の文化遺産などから、よさや美しさなどを感じ取り、人々の願いや、作者の意図と表現の工夫、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	態鑑 楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、人々の願いや、作者の意図と表現の工夫、美術文化について考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

彫刻	MY 土偶	知 材料の形や色彩、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、何かに見立てたりするなど全体のイメージで捉えることを理解している。 技 粘土などの生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。	発 材料を見つめ感じ取った形や色彩、質感の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	態表 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近な材料の特徴や美しさなどを基に見立てるなどして構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
デザイン	色って面白い 色彩構成 色のバランスを意識しよう	知 色彩についての知識を学び、色彩が感情にもたらす効果などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 技 配色カードの使い方などを身に付け、意図に応じて色を作りきれいに彩色することができる。	発 美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考えたり、表現する構想を練っている。 鑑 装飾や使いやすさとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、見方や感じ方を広げている。	態表 美術の創造活動の喜びを味わい色彩の目的や機能を考えて構想を練ったり、意図に応じて色を作り出す表現の学習活動に取り組もうとしている。
デザイン	文字っておもしろい 文字をデザインしよう	知 具体物や文字などの形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、伝達する内容を全体のイメージで捉えることを理解している。 技 レタリング技法と色鉛筆の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。	発 伝える内容やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩などとの調和を考え、表現する構想を練っている。 鑑 伝えたい内容と分かりやすさの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	態表 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく分かりやすく印象に残るフォントをデザインするなど伝達のデザインの目的や機能を考えて構想を練ったり、意図に応じて工夫し調整しながら表したりしている。 態鑑 作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
工芸	暮らしの中の木の工芸 見て楽しい 木彫ウェルカムボード	知 木の質感や特性、形や色彩などが感情にもたらす効果や、彫刻刀の使い方、木彫技法を理解している。 技 彫刻刀を使った木彫の基本技能を身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。	発 使う場面や使う人の気持ちなどから主題を生み出し、使いやすさと美しさなどとの調和を考え表現する構想を練っている。 鑑 木のよさや使いやすさとの調和のとれたデザインを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	態表 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく木のよさや美しさなどを考えて構想を練ったり、意図に応じて工夫し見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 楽しく木彫作品の見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
鑑賞	絵の中をよく見ると	知 構図や色彩などに注目し、印象などをとらえる。	鑑 描かれている人や情景、構図や色彩、作者の意図と工夫について考え、鑑賞する。	態鑑 絵に描かれた世界、作者の意図と工夫に関心をもち、美術文化について考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

評価材料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	定期テスト ワークシート 作品	定期テスト ワークシート 振り返り 作品	振り返り ワークシート 作品

7年 保健体育科

教科目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
学年目標	体育分野 - 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 - 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことに他者に伝える力を養う。 - 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人ひとりの違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。 保健分野 - 個人の生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 - 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える能力を養う。 - 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

単元	項目	評価の観点規準（B評価）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体づくり運動	- 体ほぐし運動 - 体力を高める運動	○知識 身体づくり運動の意義と行い方、身体の動きを高める方法などについて理解している。	自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、一人ひとりの違いに応じた動きなどを認めようとする、話し合いに参加しようとするなどをして、健康・安全に気を配ったりしている。
体育理論	- 運動やスポーツの必要性和楽しさ - 運動やスポーツへのかかわり方 - 運動やスポーツの多様の楽しみ方	○知識 運動やスポーツが多様であることについて理解している。	運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組もうとしている。
ダンス	現代的なリズムのダンス	○知識 - ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 - リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ることができる。	表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、交流などの話し合いに参加しようとする、一人ひとりの違いに応じた表現や役割を認めようとしたりすることなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
陸上競技	- 短距離・リレー - 走り幅跳び - 長距離走	○知識 - 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 - 短距離・リレーでは、滑らかな動きで速く走ることやバトンの受け渡しでタイミングを合	動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた表現や役割を認めようとしたりすることなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。

		わせることができる。 ・走り幅跳びでは、スピードに乗った助走からすばやく踏み切って跳ぶことができる。 ・長距離走ではペースを守って走ることができる。		
球技	・ゴール型 ・ネット型 ・ベースボール型	○知識 ・球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 ・ネット型では、ボールや用具の操作と定位置にもどるなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする、一人ひとりの違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどをして、健康・安全に気を配ったりしている。
水泳	・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ	○知識 ・水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを取り、長く泳ぐことができる。 ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。	・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをして、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ったりしている。
器械運動	・マット運動 ・跳び箱運動	○知識 ・器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。 ・跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。	・技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとする、仲間の学習を援助しようとする、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を認めようとしたりすることなどをして、健康・安全に気を配ったりしている。
武道	・柔道	○知識 ・武道の特性や成り立ち、伝統的	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運	・武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行

		な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすることができる。	動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を認めようとしたりすることなどをしたり、禁止技を用いないなど健康・安全に気を配ったりしている。
保健	- 健康の成り立ちと疾病の発生要因 - 生活習慣と健康 - 心身の機能の発達	○知識 - 健康は、主体と環境の相互作用の下になり立っていること、または、疾病は主体の要因と環境の要因が関わり合って発生することを理解している。 - 健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活が必要であることを理解している。 - 身体には、多くの器官が発育し、それに伴い、様々な機能が発達する時期があること。また、発育・発達の時期やその程度には、個人差があることを理解している。 - 思春期には、内分泌の働きによって生殖に関わる機能が、成熟すること。また、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要になることを理解している。 - 知的機能、情意機能、社会性などの精神機能は、生活経験などの影響を受けて発達すること。また、思春期においては自己の認識が深まり、自己形成がなされることを理解している。 - 精神と身体は、相互に影響を与え、関わっていること。欲求やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があることを理解しているとともに、それらに対処する技能を身につけている。	- 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し、判断しているとともに、それらを表現している。 - 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	- 健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。 - 心身の機能の発達と心の健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。

評価材料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	- 行動観察 - 定期考査（知） - 課題レポート（知） - 実技試験（技）	- 行動観察 - 定期考査 - 学習カード - 課題レポート - 実技試験	- 行動観察 - 定期考査 - 学習カード - 課題レポート

7年 技術科

教科目標	技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ①生活や社会で利用されている材料、加工、情報の技術及び双方向性のあるコンテンツのプログラミングについての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 ②生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。 ③よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
学年目標	①材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解する。 ②製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる。 ③材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考える。 ④これからの社会の発展と材料と加工の技術の在り方を考える。 ⑤技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考える。

単元	項目	評価の観点規準（B評価）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ガイダンス	生活や社会における技術の役割	- 身の回りの製品に込められた技術の工夫やアイディアを調べ、説明できる。 - 技術の発達による生活や産業の変化を説明できる。 - 身の回りの製品などを「技術の見方・考え方」の視点で説明できる。	PDCA サイクルに沿って問題解決を行うことを確認するとともに、社会における問題解決も同様の流れであることに気付くことができる。	- 人びとの「願い」を実現するための技術を見つけ、その役割を考えている。 - 技術の見方・考え方を知り、関心を持っている。 - 技術の向上により生活や産業に及ぼす影響を考えている。 - 環境保全の技術開発と、持続可能な社会の実現の必要性に関心を持っている。 - 日本の伝統的な技術が受け継がれ発展し、現代の生活や産業のものづくりに活用されていることに関心を持っている。
A(1) 材料と加工の技術	1-1 生活や社会と材料と加工の技術 1-2 材料を利用するための技術	- 木材や金属などの材料と使用方法を説明できる。 - 木材の特徴や加工法の科学的な原理・法則を説明できる。 - じょうぶな構造や形状・組み合わせについて科学的な原理・法則を説明できる。 - 図面を読んだり、書いたりすることができる。	生活の中で利用されている製品に込められた工夫を読み取り、材料と加工の技術の見方・考え方に気付くことができる。	進んで材料と加工の技術に関わり、主体的に理解し、技能を身につけようとしている。
A(2) 材料と加工の技術による問題解決	2-1 問題解決の手順 2-2 製作のための技能（木材）	- 製作品の構想図をかき、試作品を製作することができる。 - 製作品の製作に必要な図面や表をかきあらわすことができる。 - 安全・適切に材料取り、材料取り・切断・部品加工を行うことができる。 - 安全・適切に組立て・仕上げと	- 製品の問題解決の手順から、問題解決の視点について、気付くことができる。 - 生活の中から材料と加工の技術に関わる問題を見いだし、整理・整頓に関わる課題を設定することができる。 - 課題の解決策となる製作品の大きさ・形状・構造など、使用	- 自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 - 自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう他者と協働して粘り強く改善・修正しようとしている。

		検査・点検、必要に応じた改善・修正ができる。	場所や加工方法・使用できる材料などの制約条件に基づいて構想し、設計や計画を具体化できる。 ・適切に組立てができるよう手順を考えて組立てを行うことができる。 ・完成した製作品が設定した課題解決できるかを評価するとともに、設計や製作の過程に対する改善及び修正を考えることができる。	
A(3) 社会の発展と材料と加工の技術	3 これからの材料と加工の技術	・これまでの学習と、材料と加工の技術が安全な生活や社会の実現に果たす役割や影響を踏まえ、材料と加工の技術の概念を説明できる。	・よりよい生活の実現を目指して、材料と加工の技術を評価し、適切な選択・管理・運用の在り方について提言をまとめることができる。	・よりよい生活の実現に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造していこうとしている。

評価材料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・教材作品 ・実習レポート ・行動の観察	・教材作品 ・実習レポート ・行動の観察	・ノート ・ワークシート（プリント） ・行動の観察 ・振り返り

7年 家庭科（家族・家庭生活、衣生活、住生活）

教科目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
学年目標	(1) 生活を支える家族・家庭の機能について理解できる。自分や家族が担う家族・家庭の機能を考え、生活を工夫できる。 (2) 目的に応じた衣服の選択や、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を理解し、工夫することができる。 (3) 材料や縫い方について理解し、用具を安全に取り扱い、生活を豊かにするために布を用いた製作が適切にできる。また、資源や環境に配慮し、生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え、製作を工夫することができる。 (4) 家族の生活と住空間との関わりや、住居の基本的な機能について理解する。家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解し、工夫することができる。

単元	項目	評価の観点規準（B評価を表記）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家庭分野のガイダンス	家庭分野のガイダンス	- 自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 - 家族・家庭の基本的な機能について理解している。 - 家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気づいている。	自分や家族が担う家族・家庭の基本的な機能を考え、生活を工夫している。	
私たちの衣生活	衣服の選択と手入れ	- 衣服と社会生活との関わりについて理解している。 - 目的に応じた着用について理解している。 - 個性を生かす着用について理解している。 - 衣服と社会生活との関わり(和服)について理解している。 - 衣服の適切な選択について理解している。 - 衣服の計画的な活用の必要性について理解している。 - 既製服の表示を読み取り、適切に選択している。 - 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解していると同時に、適切にできる。	- 自分らしい着方について考え、工夫している。 - 衣服の選択について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 - 材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方(洗濯、収納、補修、アイロンなど)について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 - 持続可能な衣生活を目指して、課題とその解決方法について考え、工夫している。	- 目的に応じた着用を踏まえた自分らしい着方について工夫し創造し、実践しようとしている。 - 衣文化の継承について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 - 衣服の選択について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 - 材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方(洗濯、収納、補修、アイロンなど)について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 - よりよい衣生活を目指して、衣服の選択と手入れや生活を豊かにするための布を用いた物の製作について、工夫し創造し、実践しようとしている。

生活を豊かにするために	作って楽しい布製品	・製作するものに適した材料や縫い方について理解している。 ・用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして、課題を解決する力を身に付けている。	・生活を豊かにするための布を用いたせいかく計画や製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善しようとして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
私たちの住生活	住まいの役割と安全な住まい方	・住居の基本的な機能について理解している。 ・家族の生活と住空間との関わりについて理解している。 ・和式の住まい方や日本各地の住まいの特徴などと住空間の関わりについて理解している。 ・室内の空気環境など、家族の健康・快適・安全を考えた住空間の整え方について理解している。 ・家庭内の事故の予防や対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 ・自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	・室内の空気環境など、家族の健康・快適・安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫している。 ・家庭内の事故の予防や対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について工夫している。 ・自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫している。 ・持続可能な住生活を目指して、課題とその解決方法について考え、工夫している。	・住文化の継承について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・室内の空気環境など、家族の健康・快適・安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・家庭内の事故の予防や対策など家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・自然災害への備え方など家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・よりよい住生活を目指して、住居の機能と安全な住まい方について、工夫し創造し、実践しようとしている。
生活の課題と実践	生活の課題と実践		・自分や家族の食生活や消費生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・自分や家族の食生活や消費生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

評価材料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・定期考査 ・授業観察 ・実技テスト ・作品 ・ワークノート	・定期考査 ・ワークノート ・授業観察 ・レポート ・発表 ・作品	・定期考査 ・授業観察 ・ワークノート ・レポート

7年 外国語（英語）科

教科目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 ＜聞くこと＞ ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えること ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。 ＜読むこと＞ ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。 ＜話すこと【やり取り】＞ ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。 ＜話すこと【発表】＞ ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。 ＜書くこと＞ ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。
学年目標	7年終了時までに学習した文法や表現を習得する。

単元	項目	評価の観点規準（B評価）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
アルファベット フォニックス 身近な単語 Unit 0 Nice to Meet you	場面の表現 アルファベット 英語の音と文字 単語や文の基礎 的なルール	〔知識〕 あいさつや好きなもの をたずねる文の形・意味・用法を 理解している。(L・SI) 〔技能〕 あいさつや好きなもの をたずねる文の理解をもと に、初対面や朝のあいさつをし たり、好きなものをたずね合っ	初対面の相手とおたがいのこと を知るために、あいさつをして 名前を伝え合ったり、好きなもの について、簡単な語句や文を 用いて即興でたずねたり答えたり している。(SI)	初対面の相手とおたがいのことを 知るために、あいさつをして名前 を伝え合ったり、好きなものにつ いて、簡単な語句や文を用いて即 興でたずねたり答えたりしようと している。(SI)

		たり答えたりする技能を身につけている。(L・SI)		
Unit 1 Hello, Everyone! ☆speech Introducing myself	be 動詞 am, are 一般動詞 be 動詞の疑問文	〔知識〕 一人称の be 動詞と一般動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) 〔技能〕 名前や好きなものなどについて、be 動詞や一般動詞を用いてコミュニケーションを行う技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W)	おたがいのことをよりよく知るために、名前や好きなものなどについて、自分の考えや気持ちを、簡単な語句や文を用いて発表し、自己紹介文などを書き、人の自己紹介文を読んで要点を捉えている。(SI・SP・W・R)	おたがいのことをよりよく知るために、名前や好きなものなどについて、自分の考えや気持ちも含めて、簡単な語句や文を用いて即興でコミュニケーションを行おうとしている。
Unit 2 Our New Teacher ☆speech My friend	be 動詞 is 助動詞 can	〔知識〕 He [She] is …や助動詞 can, This [That] is …を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) 〔技能〕 He [She] is …や助動詞 can, This [That] is …を用いた文の理解をもとに、身近な人のことやできること、どのようなものかについて伝えたり、たずねたり答えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W)	身近な人やものについてよりよく知るために、身近な人のことやできること、どのようなものかについての紹介や疑問に思うことなどについて、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。(L・SI・SP・W)	身近な人やものについてよりよく知るために、身近な人のことやできること、どのようなものかについての紹介や疑問に思うことなどについて、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。(L・SI・SP・W)
Unit 3 Our school	疑問詞 what Who / How When / Where	〔知識〕 what や who, how や when, where を用いた疑問文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・W) 〔技能〕 what や who, how や when, where を用いた疑問文の理解をもとに、ものや人、方法や時、場所をたずねたり答えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・W)		疑問に思うことを解決したり、知らないものや人について知るために、ものや人、方法や時、場所について、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたりしようとしている。(L・SI・W)
Unit 4 Friends in New Zealand	命令文 疑問詞 How many /what time/ what 名詞	〔知識〕 How many …? や What+名詞 …? の疑問文、命令文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) 〔技能〕 How many …? や What+名詞 …? の疑問文、命令文の理解をもとに、数や時刻、することなどについてたずねたり答えたり、指示や助言をしたりする技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W)	おたがいのことをよりよく知るために、数や時刻、することなどについて、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたり、指示や助言をしたりしている。(L・SI・W)	おたがいのことをよりよく知るために、数や時刻、することなどについて、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたり、指示や助言をしたりしようとしている。(L・SI・W)
Unit 5 My Brother In Hawaii ☆即興スピーキングテスト	前置詞 3単現	〔知識〕 三人称単数現在形の文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) 〔技能〕 三人称単数現在形の文の理解をもとに、自分と相手	クラスメートなど身近な人の魅力をほかの人に知ってもらうために、その人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話して	クラスメートなど身近な人の魅力をほかの人に知ってもらうために、その人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとし

		以外の人やものなどについてたずねたり答えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W)	いる。(L・R・SI・SP・W)	ている。(L・R・SI・SP・W)
Unit 6 A Rakugo Performer from the U.K. 【13時間】	人称代名詞 疑問詞 Whose Which	〔知識〕 代名詞や疑問詞 whose、which を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) 〔技能〕 代名詞や疑問詞 whose、which を用いた文の理解をもとに、人やものについてたずねたり答えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W)	自分と相手以外の人やものの持ち主などについて知るために、有名人やキャラクターについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。(L・R・SI・SP・W)	自分と相手以外の人やものの持ち主などについて知るために、有名人やキャラクターについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。(L・R・SI・SP・W)
Unit 7 An Online Tour of The U.K.	現在進行形 感嘆文	〔知識〕 現在進行形を用いた文や感嘆文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) 〔技能〕 現在進行形を用いた文や感嘆文の理解をもとに、人が今していることについてたずねたり答えたり、感動や驚きの気持ちを伝え合う技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W)	相手に学校や町の雰囲気を知ってもらうために、生活の一場面で行っていることや感動や驚きの気持ちを、写真や動画を見せながら、事実や気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で話している。(L・R・SI・SP・W)	相手に学校や町の雰囲気を知ってもらうために、生活の一場面で行っていることや感動や驚きの気持ちを、写真や動画を見せながら、事実や気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で話そうとしている。(L・R・SI・SP・W)
Unit 8 Think Globally, Act Locally Let's talk	want to V look 形容詞	〔知識〕 不定詞(名詞的用法)や<look+形容詞>を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) 〔技能〕 不定詞(名詞的用法)や<look+形容詞>を用いた文の理解をもとに、したいことや人やものの様子について伝え合ったり、たずねたり答えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W)	世界や地域の問題をみんなで共有して解決するために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、その現状を伝え協力を呼びかけるポスターを書いている。(L・R・SI・SP・W)	世界や地域の問題をみんなで共有して解決するために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、その現状を伝え協力を呼びかけるポスターを書こうとしている。(L・R・SI・SP・W)
Unit 9 Winter Vacation 即興スピーキングテスト	過去形	〔知識〕 一般動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) 〔技能〕 一般動詞の過去形を用いた文の理解をもとに、過去の出来事について伝え合ったり、たずねたり答えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W)	おたがいのことをよりよく知るために、クラスメートと冬休みの出来事について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。(L・R・SI・W)	おたがいのことをよりよく知るために、クラスメートと冬休みの出来事について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。(L・R・SI・W)
Unit 10 This Year's Memories	be 動詞の過去形 there is / there are 過去進行形	〔知識〕 be 動詞の過去形や過去進行形、There is [are] ...を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・W) 〔技能〕 be 動詞の過去形や過去進行形、There is [are] ...を	日常の出来事や行事での思い出を残すために、体験したことや感じたことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて日記を書いている。(L・R・SI・W)	日常の出来事や行事での思い出を残すために、体験したことや感じたことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて日記を書こうとしている。(L・R・SI・W)

		用いた文の理解をもとに、過去の状態や気持ち、過去のある時点でしていたことなどについて伝え合ったり、たずねたり答えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・W)		
--	--	---	--	--

評価材料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・定期テスト ・単語テスト ・小テスト	・定期テスト ・授業中に制限時間内で取り組むライティング課題 ・スピーチ ・即興スピーキングテスト ・リーディングテスト	・課題やテスト等に取り組む姿勢（授業観察、成果物、振り返りシート） ・小テスト ・テストの解き直し ・学習したことの振り返り

